

# TOPICS ～in 海外～

発信日付 2019年6月4日

発信名 国際部

内容  
照会先 TEL : 011-233-1198

## ユジノサハリンスク駐在員事務所

### 大型商業施設「メガベリョーズカ」がオープン

5月15日、ユジノサハリンスク市中心部に「メガベリョーズカ」という新しいショッピングモールがオープンしました。営業を始めたテナントはまだ少ないですが、これから順次入居予定です。

B1Fに「レミ」という沿海州の大手食品ディスカウントストアが入居する予定で、1Fは宝石やアクセサリなどのお土産品、2Fは服飾、3Fは子ども用品と家電量販店、4Fは家庭用品、そして5Fはフードコートと子ども用の遊び場があります。

メガベリョーズカは同じ市内にある極東最大の商業施設「シティーモール」より面積は狭いですが、街の中心に位置しており便利です。また、屋内駐車場があるので、悪天候の時なども快適です。(ユジノサハリンスク市では初めての屋内駐車場です。)



ユジノサハリンスクで楽しい時間を過ごせる施設がまた一つ増えました。ショッピングやグルメの新たな名所としてにぎわいそうです。

市内中心部は、大規模なマンションの建設ラッシュに沸き、再開発の波が押し寄せて来ています。また、郊外にお

いても道路の整備や郊外型店舗の出店など、町並みの変貌ぶりは目覚しいものがあります。

北海道から最も近い海外「ユジノサハリンスク」、自然と都市が調和するこの街に遊びにきませんか？

ラブシナ・マリア

## 北海道 ASEAN 事務所 (シンガポール)

### シンガポールにおける健康事情について

シンガポール国内において、糖尿病患者が増加していることを皆さんはご存知でしょうか。シンガポール保健省の発表によると、国民に占める糖尿病患者の比率は約11% (2014年時点)、そのうち60歳以上の患者比率では約30%に上り、その比率は世界でもワースト1位を争うものと発表されています。そこで、シンガポール首相による2017年の方針演説において糖尿病対策を重大施策の一つとして掲げるほどでした。

シンガポールにおける糖尿病患者の増加には、「3食外食が当たり前、ホーカー(屋台街)が庶民の食卓」というシンガポール国内の文化が大きな要因とも言われています。物価が非常に高く、共働き世帯が多いシンガポールにおいては、ホーカーは非常に便利な反面、野菜が少なく塩分や脂質の多いメニューが多く並んでいるという現状があります。

また、シンガポールでは日ごろの運動に対するプロモーションを積極的に行っております。特にマラソンが非常に人気であり、多くのランナーが参加して



います。直近では「サンダウンマラソン」が開催予定であり、名前の通り深夜1時にスタートします。1年を通して、30度を超える暑さのシンガポールにおいては日没開催のマラソン大会は非常に興味深く、私もフルマ

ラソンに参加予定ですので、今回は、サンダウンマラソンについて、お伝えしたいと思います。

杉山 和正